



さわやかな季節の風を受けて



新学期が始まり1か月が過ぎようとしています。入学した18人の一年生が学校生活に慣れるに従い、それぞれの学年でも様々な活動がさわやかな季節の中で進められています。4月22日には、授業参観・PTA総会・学級懇談会に、多数の保護者の方にお越しいただきました。お子さんの姿や、学校の様子を感じていただく機会になったのではないかと思います。また、本年度のPTA活動が皆様のお力をいただきまして、実りの多いものとなりますように、計画準備から実施へと取組んでまいりたいと考えています。



さらに、家庭訪問ではお忙しい中、お時間をお取りいただきまして、ありがとうございました。お聞かせいただきましたお子さんの様子などを、日々の教育活動に活かしていきたいと思えます。今後におきましても、ご家庭との連携を大切に、様々な課題に臨んでいきます。何卒よろしくお願ひいたします。

学校教育目標で目指すところは



さて、PTA総会でお伝えしましたが、今年度の学校教育目標を「**見てよ、できるよ、やる気とこん気で きらりと光る 明合っ子**」としました。昨年度の全国学力・学習状況調査、児童アンケート、日常の活動する姿などから、子どもたちが伝え方に自信が持てないでいることがわかってきました。また、失敗を恐れてしまう一面も浮かび上がってきました。



そこで、誰もが認められることに焦点をあて、自分が大切な一人であると周りから受け止められ、自己有用感を味わえる授業を目指していこうと考えました。授業の中で自信をもち、主体的に学びに向かえる子どもたちを目指し、授業改善を図っていきます。子どもたちから発せられる「みてよ!」「できるよ!」に、教職員一同で応えられる学校づくりに臨んでいこうと考えています。

先日、4年生のある子が「今日、ぼくの誕生日だよ!」と嬉しそうに声をかけてくれました。私から「おめでとう、プレゼントはないけれど…」と返すと、その子は「お祝いを言うだけでうれしいよ!」ということばを返してくれました。この4年生の子は「わかってくれることが、いちばん嬉しいんだ」という気持ちを表してくれたような気持ちになりました。ちょっとしたことに周りが寄り添い、子どもたちがお互いにわかり合っていくことは、とても価値あることだと考えています。